



Kitsuki Shigikai
Dayori

きつき市議会だより

令和2年6月1日発行



特集

ゆっくり過ぎてく大田時間
げってい
「月亭」へようこそ

2020

6

NO.56

特集

古民家で 田舎ライフ

貸し古民家「月亭」げってい



〈 改 修 前 〉



〈 改 修 後 〉

平成31年4月1日にオープンした「お試し移住」ができる宿泊施設「月亭」げってい。

田んぼに囲まれた一軒家という立地で、気軽に田舎暮らしを体験できます。旅行者の宿泊施設としての利用はもちろんのこと、大田俣水地区に移住・定住を考えている方が、

一定期間、実際に地域で過ごすことができます。

運営をするのは「俣水を元気にする会」、建物は個人所有で10年近く住む人がいましてしたが、活用について地域住民アンケート調査、ワークショップの開催を重ねて、2017年度から市や県の補

助を利用し改修をおこないました。

間取りは8畳、6畳の和室と掘りごたつのあるダイニングルーム、土間のあるキッチン、浴室（シャワーのみ）等、調理道具・食器、WiFi環境も整っています。

予約の受付、宿泊者の対応などの実務は、元地域おこし協力隊員のたけもと岳本希世子きよこさんが担当をしてくれまます。「利用者の大半は都会の方で、年に15組ほどをお迎えしている。今後はチラシの配布、ホームページで古民家暮らしの魅力を発信していきたい。」とのこと。また「大田の自然が多いところが大好きです。この施設はお金儲けのためではありません。若い人達に自然の多い大田で過ごしていただき田舎生活の雰囲気を感じて



もらえ、大田に興味を持って移住していただけるよう頑張っていた。」とも語ってくれました。

全国各地で、年々増加している空き家、中には非常に良い物件もあり、各地で再利用をいろいろと検討しています。古民家再生施設は現在、市内では月亭1軒ですが、いずれは2軒、3軒と増やして杵築市全体に移住者が増えることを期待します。



「月亭」を訪れて

「おはようございます」と笑顔一杯で迎え入れてくれたのは、「月亭」の女将さんことボランティア管理人の岳本希世子さん。ここを訪れる方にとって初めて出逢う大田の人が彼女だ。田舎暮らしに憧れて杵築を訪れ、地域おこし協力隊を経て、大田で空き家も購入、終の住処として選んでくれたスマイル女将さん。

県の里の暮らし事業を通して、大田の人や大学生との協働の中で、集いの場の創生が具現化できた。今は経営的に厳しいが、集う人の意向に添い運営をできたらと抱負を語る。大田の魅力に魅せられ人が、大田を変えて行く原動力になるのだらう！「ガンバレ大田、ガンバレ月亭」とエールを贈り続けたい。



～施設概要～（設備、利用料金等）

名 称	貸し古民家「月亭」（げってい）
所 在 地	〒879-0941 大分県杵築市大田俣水 3369-2
交通アクセス	杵築駅より車で 25 分
料金・設備	古民家利用 日帰りプラン 1 棟 3,000 円 素泊まりプラン 1 名 3,000 円（7 人まで） ※ロングステイ、食事のいる方は相談可 【附属設備】 洋式トイレ（水洗）、シャワー室、洗面台、ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、トースター、掃除機、ファンヒーター、扇風機、布団、調理器具、食器、Wi-fi、（テレビ、エアコンはなし）
お問合せ	HP https://kasikominka-gettei.jimdosite.com メール予約 matamizugenki2018@gmail.com

令和2年度 一般会計当初予算

総額 170 億 9,000 万円

昨年度と比べ 30 億円、率にして 14.9%減になりました。

令和2年度 特別会計当初予算

(カッコ内は前年度比増減)

ケーブルテレビ事業特別会計	6 億 1,045 万円 (△ 67.2%)
国民健康保険特別会計	42 億 687 万円 (13.1%)
後期高齢者医療特別会計	4 億 1,144 万円 (3.8%)
介護保険特別会計	38 億 6,570 万円 (0.1%)
農業集落排水事業特別会計	1 億 7,652 万円 (△ 16.5%)

- ・地域包括支援センター特別会計を廃止、簡易水道事業特別会計を水道事業会計へ統一し公営企業化しました。

令和2年度 公営企業会計当初予算 (収益的収入)

水道事業会計	5 億 5,252 万円 (26.3%)
工業用水道事業会計	2,228 万円 (△ 0.5%)
下水道事業会計	6 億 4,722 万円 (皆増)
市立山香病院事業会計	29 億 216 万円 (1.4%)

- ・公共下水道事業特別会計と特定環境保全公共下水道事業特別会計を統一し下水道事業会計を創設しました。

令和元年度 一般会計補正予算

一般会計補正額	△ 16 億 2,131 万円
補正後予算総額	210 億 8,890 万円

条例

杵築市債権管理条例の制定について

(市が保有している債権の管理に関して、事務処理基準等を明確にし、債権管理の一層の適正化を図るため条例を制定するもの)

杵築市長寿祝金条例の制定について

(現行の敬老祝金と敬老祝品進呈事業を整理し、敬老祝金を長寿祝金と改め、支給年齢などを見直し、条例を制定するもの)

杵築市大田高齢者デイサービスセンター条例の廃止について

(新たに小規模多機能型居宅介護施設を整備したことに伴い、サービスの充足が見込まれることから条例を廃止するもの)

杵築市普通公園等条例の一部改正について

(松尾川河川プールについて、施設の著しい老朽化や雨天時に泥水が流入するなど、維持管理が困難であることから、河川プールを廃止するため改正するもの)

その他

杵築市山香温泉風の郷の指定管理者の指定について

(杵築市山香温泉風の郷の指定管理者を「有限会社ペンタハウスクラブ」に指定すること)

風の郷パークゴルフ場の指定管理者の指定について

(風の郷パークゴルフ場の指定管理者を「杵築市パークゴルフ協会」に指定すること)

主な議案

令和2年 第1回定例会

3月議会の概要

会期は2月26日から3月18日までの22日間。令和2年度一般会計・特別会計予算や令和元年度一般会計・特別会計補正予算、条例案など69件、諮問3件、報告1件が上程され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意、承認し閉会しました。



令和2年第1回市議会定例会では、3月2日・3日・4日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、15人の議員が諸問題について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



まなべ きみつひろ
真鍋 公博議員

総合計画について

議員 杵築市総合計画の後期基本計画の最新版の、主な事業は。

政策推進課長 ふるさと納税の増加を目的とした「ふるさと寄附金特産品贈答事業」、新たな工業団地の造成の可能性を探るための「企業立地支援事業」、歴史的なまちを整備していくための「歴史的風致維持向上計画策定事業」などである。

観光について

議員 小京都杵築としての十分な宣伝効果はあったと思う。現在、埼玉県川越市や栃木県栃木市などが「小江戸」として宣伝活動をしているが、九州唯一の「小江戸」として、事業展開してはどうか。

商工観光課長 「小江戸」については、九州で名乗る自治体はなく、知名度の向上のインパクトは大きい。杵築市と連携協定を結んでいる法政大学が江戸東京研究をしているので、連携を検討したい。

議員 市内の橋めぐりとか、城下町のパワースポットめぐりとかを企画してみてもどうか。

令和2年度の主な活動は。
商工観光課長 城下町杵築のシ

ンボルである「杵築城」が復元から50年の節目を迎えるので、「御城印」の作成販売をはじめ、「杵築城」をテーマにPR活動を重点的に実施する。

企業誘致について

議員 杵築東芝エレクトロニクス、ジェイデバイス、アムコー・テクノロジー・ジャパンと会社名は変わったが、杵築市の経済の牽引企業として、長年貢献されてきた。従業員の方々の今後はどうなっているか。

商工観光課長 県を中心に関係機関連携のもと再就職支援などをしていく。

議員 その跡地の活用は、また旧山香中学校の跡地の活用は。まずは既存の跡地を最優先して、企業誘致を推進してもらいたい。

商工観光課長 県と連携し、早い段階での企業誘致にこぎつけたい。

議員 東地区ゴルフ場予定地跡地は、工業団地ありきではなく、テーマパークや防災備蓄基地等の開発有償提案制度（プロポーザル）を実施してはどうか。

商工観光課長 広大な敷地の中で、どの場所に、どの範囲の工業団地を造成するか検討し、適地を決定する。残地について、工業団地以外の用途を検討する際に参考にしたい。

議員 原点に返り、大田、山香、杵築それぞれの地域の地形、地質、立地条件等を精査して、工場適地計画を作成し、企業誘致を推進してもらいたい。



ふじもと じろう
藤本 治郎議員

緊急財政対策について

議員 来年度の事業の増減と市民説明会で感じたことは。

財政課長 614事業から71事業を減らし、543事業で新規事業は15事業、説明会では市民に不安感・不信感を与え申し訳ない、今後は節目毎に説明会を設けていく。

議員 不採用で年齢構成の平準化と働き方改革の取り組みは。

総務課長 平成25年度から業務量の増加と新規事業増で職員数が増加、職員は30歳以下15.6%だが緊急財政対策で2年間採用を見送る事にした。時間外勤務手当は平成30年度9,871万8千円、水・金曜をノー残業デーとし1人当たり月に3時間の削減を目標とする。

議員 業務にはグループ化で臨み、負担軽減に対応して欲しい。

旧野上邸跡地利用について

議員 再生までの経費とどのような建物が完成するのか。

政策推進課長 家屋の解体と平屋の建築費総額1億3,182万1千円で市の負担は6,696万1千円、お庭を望む東屋19.42坪の平屋、建築費

3,692万8千円で坪単価約190万円。

議員 建物の活用とホテル誘致は。

政策推進課長 城下町観光の中心地として整備した。ホテル誘致は長く協議をしたが進出はない。

議員 コンパクトシティ構想と重ねると矛盾があるが計画を明確にして財源を浪費しないよう大切に使うて欲しい。

城下町観光の振興について

議員 国指定を受けた城山・御殿跡地の経費と今後の取組は。

文化・スポーツ振興課長 平成30年度2億1千万円、保存や展示等の経費の補助があり、社会教育や観光に繋げていく。

議員 城下町杵築古民家ツーリズム振興協議会とは。

商工観光課長 滞在型観光地に再生する為の計画や開発を行う、一番はまちづくりの担い手を育成すること。

議員 お金の落ちる観光と地元との結びつきは。

商工観光課長 昨年より「まち歩きクーポン」を1,000円で販売、文化施設3ヶ所と500円分を商店街で利用できるので、これから密接に連携していきたい。

議員 商店街のみならず御朱印巡り等、地域全体で観光を盛り上げて欲しい。



たなか しゅうじ
田中 正治議員

人口減少対策と活性化対策について

議員 企業誘致のための造成事業について（杵築東、八坂地区の市有地の活用）。

商工観光課長 現況は山林で台帳面積87ha、平成18年12月、土地開発公社が3,500万円で購入、公社解散に伴い、平成25年6月に市所有となる。県企業立地推進課に相談、進入路の整備として、造成工事はしなくて実施計画を策定し企業からの問い合わせがあつてから、希望する面積に対する金額や造成期間を提示することで誘致交渉を進めることができるとアドバイスを受けた。県と連携しながら団地整備を進めて行く。

議員 豊後高田市は、総面積92haのうち、50.4haを大分県北部中核工業団地として、大分県と大分県土地開発公社が事業主

体となって開発している。杵築市も同様にしては。

商工観光課長 30ha以上の大規模開発であれば、事前に環境調査を行う必要があり、調査に数年の期間と費用がかかる。結果的に遅れることになるので、30ha以下で進める。

議員 杵築市総合運動公園の改修計画は。

文化・スポーツ振興課長 年間を通じて、延べ1万8千人が利用している。陸上競技場は300mトラックであるが、400mトラックにすべきと思っている。また、全天候型に改修すると事業費も多額となる。今のところ改修計画はない。

その他の質問

- ・ミカンバエ防除薬剤の補助金休止について
- ・有害鳥獣捕獲助成事業の減額について
- ・杵築市乾杯条例の制定について



あべ もとなり
阿部 素也議員

市の官公需（公共調達）について

議員 緊急財政対策で市内の事業者にも少なからず影響が及ぶ恐れがある。改めて、市の税収を上げるためにも、市内事業者への優先発注を希望するが。

財政課長 市のお金を市内で還流させることは大事なことだ。今後とも市内事業者の育成と入札制度の公平性、経済性を両立できるように努める。

法定外税について

議員 安定した財政運営を図るため、市独自の財源を探る必要がある。課税自主権という観点から法定外税（自治体独自の条例に基づいて課する税）を検討してみることも必要では。

税務課長 他の自治体の状況を注視していく。

再生可能エネルギー施設と景観計画について

議員 以前、太陽光発電施設の近隣では災害発生など生活環

境の面から心配だと質問したが、景観の面から市の景観計画・条例に適合しているのか。

政策推進課長 適合している。

議員 他市ではその計画の中で、「市街地」、「田園集落」、「自然景観保全」などのエリアに分けて、基準を厳しくしようとする動きがあるが。

政策推進課長 本市でも計画策定から7年経過しているので見直しを検討していく。

公民館とコミュニティセンターについて

議員 住民自治協議会を支援するため、地区公民館をコミュニティセンターへということだが。

協働のまちづくり課長 公民館機能を拡充させるものとして、これまでの事業に加え、防災や福祉、地域課題解決、地域活性化に取り組み拠点とする。

議員 社会教育法を根拠法とするものは、今後どう担保されるか。

協働のまちづくり課長 これまでどおり杵築市中央公民館の下に活動を行っていく。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



かき たかし
加来 喬議員

新型コロナウイルス感染症対策について

議員 国はコロナウイルス感染者を発見したくないのではないのか。これが続けば、重篤患者が増え市中感染拡大が止まらず、第二の武漢になる。感染拡大を想定して対策を練る必要がある。国や県、医療機関や救急、教育、福祉関係との情報共有は。

健康長寿あんしん課長 国から県に随時通知があり、県から市へ通知が来る。市は各関係機関に情報提供している。2月2日に東部保健所主催の連絡会議に管内医療機関や消防、警察等とともに参加し対応を確認。2月20日の医療機関対象の説明会でも医療体制の確認を行った。教育機関や高齢者福祉には関係課長が随時、情報共有を行って対応を検討している。

議員 小中学校の休校を判断した理由は。

市長 国・県の要請に基づいて休校措置を取った。

議員 休校を否定しないが、臨床データでは致死率は若年層が低く、高齢者が高い。介護従事者が感染し、その方から高齢者や基礎疾患のある方へ感染する事が問題。今すべき事や、目的を押さえた上での行動を整理すべき。市内のPCR検査件数は。

健康長寿あんしん課長 要望件数や杵築市の検査件数を県に確認したが、情報を公表しない方針との事で確認できなかった。

議員 検査しないと、どこに感染者の存在や広がりか確認できない。市内で感染拡大が起った場合、山香病院は対応できるか。

山香病院事務長 疑わしい方は、別棟の外来診療棟で診察する。山香病院は感染症指定医療機関ではないので、感染症病床がなく、受け入れ困難。東部医療圏では2医療機関の各4床しか病床が無い。

議員 軽症者は静養してもらい、重症者のための感染症病床の拡充を図る等の対策を、この1〜2週間で図るべきだ。



ひしや
泥谷 修議員

杵築市の財政健全化に向けて

議員 「従来の予算編成を繰り返すと」という仮定の話で市が財政再生団体になるというような発言はすべきではないのでは。

市長 財政再生団体という言葉が独り歩きをした。今後、緊急財政対策を着実に実行していく。

議員 財政再生団体という言葉で、悪いイメージが先行し、その影響が心配されているが。

財政課長 市民に不安を与え申し訳なく思っている。今後は、財政健全化を着実に進め、市民の不安を払しょくしていきたい。

議員 3年間の緊急財政対策と併せ、10年位の自主的な財政健全化計画を策定し、毎年度検証を行い、公表すべきだと思うが。

財政課長 第4次行革大綱を策定し、長期の計画を立てていきたい。

議員 行革を着実に実行して

いくための組織体制は。

総務課長 来年度から企画財政課内に行財政改革推進室を新設する。

全世代対応型地域包括支援センターについて

議員 全世代対応型地域包括支援センターを社会福祉協議会内に開設する意義は。

福祉推進課長 2040年問題として、高齢者の増加は落ち着くが現役世代が急速に減少し、新しい生活困難層が増加すると言われている。杵築市では既にそういう人口構造になっており、喫緊の課題として取り組む必要がある。

議員 市内全体の相談窓口体制は。

福祉推進課長 高齢者や子育て、障がい者、生活困窮者などの担当者20名を、新センターや健康推進館、社協に配置する。各庁舎の窓口でも初期の相談対応を行う。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



えとうりやういちろう
衛藤竜一郎議員

市長の政治姿勢について

議員 緊急財政対策という大きな試練を迎え、市内各地で市民説明会を開いたが、どのような感想を持ったのか。

市長 これまで同様の予算編成を続けると財源不足に陥って、財政調整基金が枯渇するおそれがある。令和2年度から予算編成を緊縮型として一般財源の額を10億円程度圧縮するということ。修正をしたことによって、市民の皆様に変な御心配をおかけしてしまった。その場で改めてお詫びを申し上げた次第である。

議員 財源確保、歳入の確保について。

市長 市税については、企業の撤退が決まるなど厳しい状況にある。撤退される予定の企業の跡地、建物の活用についても今、県と綿密に連携をとっているところである。進出企業の誘致に全力で取り組んでいきたい。

議員 歳入において最も重要なことは、安定した収入を継続

的に確保することであるが、今確認したところ、ふるさと納税をあげていた。もちろん稼ぐという観点では非常に良いことだが、ふるさと納税はご承知のとおり税外収入であり、民間でいう雑収入に当たる。税外収入とは、税金によらない収入であり、ふるさと納税制度と書いているが、実際は納税ではなく寄附に当たる。とにかく税収を増やすために、起業支援や企業誘致に向け努力をしたうえで、税外収入に取組むべきだと思う。

人口減少問題について

議員 杵築市が直面している人口減少と少子高齢化の対策について、何が必要で、その対策はいつ始めなければならないか、思っているのか。

政策推進課長 今、総合戦略を令和2年度から見直す作業に入っているが、第一次の事業でなかなか人口減少対策に取り組んでも伸びが見られない。修正したりしながら、第二期の総合戦略をつくっている中で、人口減少対策、地方創生に向け努力していきたい。



さかもと てるのり
坂本 哲知議員

緊急財政対策説明会について

議員 市民の意見をどう反映するのか。

財政課長 市民の皆様からいただいた意見、提言については、今年度の予算編成にて検討をさせていただいた事業もある。令和2年度から4年度と3カ年で取り組む緊急財政対策において反映をしていきたいと考えている。

議員 令和元年度の経常収支比率について。

財政課長 年度途中だが、令和元年度も非常に厳しい状況にあることは間違いない。現時点で具体的な数値に触れることはできないが、財政指標的に厳しい決算状況になると思う。

議員 大変厳しい状況との見込みであるが今後、本当に異次元の改革が実施できるのか注視していきたい。

ふるさと納税について

議員 ここ5年間の寄附額の推移は。

政策推進課長 ふるさと納税は、平成25年度が約320万円、26年度が約630万円、

27年度に初めて1億円を超え約1億430万円、28年度が2億570万円、29年度が2億5,470万円、30年度が1億6,450万円。今年度は過去最高の約4億円となる見込みである。

議員 増収への取り組みは。

政策推進課長 杵築市人会や山香会、高校OB会等々の総会で、返礼品パンフレットやチラシ等を配布し杵築市にゆかりがある方々へお願いをしていく。また、杵築高校十王会の機関紙「十王新聞」に、ふるさと納税をお願いする記事を掲載するなどの取り組みを継続していく。

コミュニティバスの運行について

議員 バスの料金が5月から200円に値上がりするのとこのだが、毎日通学で利用する高校生の料金は100円のままで良いのではないか。

政策推進課長 利用者の皆様方にはご理解をお願いしたい。

議員 高校通学、高齢者等の利用料金については納得できない。予算特別委員会で追及したいと思う。

その他の質問

・消防団員の定員・現員数について
・移住定住促進の政策について

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ほり のりよし
堀 典義議員

緊急財政対策について

議員 さらに事業を削減しなければ人員削減など行政改革はできないのではないか。

総務課長 第4次行革大綱実施計画で事業削減を検討する。

議員 令和3、4年度の特定期限の基金の取り崩しを早期に解消すべきでは。

総務課長 新年度策定の行革大綱及び実施計画で示す。

議員 県などの補助事業も聖域とせず相手と協議すべき。さらに受益者負担適正化も考慮しては。

総務課長 全ての事業を対象に、行革大綱の中で見直す。

議員 令和5年度以降を含む今後の公債費削減の取組は。

総務課長 起債発行額を単年度12億円以内とする。令和7年度末で地方債現在高が200億円を切り196億となる。

議員 行革へ市役所一丸の体制作りと、市民への財政再建進捗報告会を実施するべきでは。

市長 職員のいろんなアイデアを出せる場を作りたい。また、市民への報告会も開催し、一日も早く市内外の人の杵築への評価を取り戻すように頑張りたい。

杵築駅周辺整備について

議員 日豊本線沿線の大分市や別府市、日出町への人口の流出状況を伺う。

政策推進課長 令和元年まで5年間の社会動態では、日出町、大分市、別府市へ計806人の流出超過となっている。

議員 人口流出抑制に向け杵築駅周辺を住宅地整備し、大分方面へJRで通勤通学できるようにすべきでは。

政策推進課長 駅周辺は大分市などへの通勤通学に便利。駅裏整備も検討の余地がある。

議員 立地適正化計画が策定された。財政は大変厳しいが、民間の力を導入し、ぜひ一歩進んだ取組みをお願いする。

市長 計画でJR杵築駅周辺が脚光を浴びる。アイデアを出し市有地も有効活用し社会現象を食いとめるように舵を切っていきたい。



たはら ゆうじ
田原 祐二議員

杵築市の財政について

議員 緊急財政計画では、3年を目安としているようだが、最初から目一杯取り組まなければ達成できないのではないのか。

財政課長 今後、策定する第4次行財政改革大綱において、講ずべき対策を検討する中で、一定程度の時間を要する項目も出て来ると思われる。不断の取組みにより行財政改革を実行していく。

議員 市民の危機感を把握できているのか。

財政課長 市民説明会では厳しい意見を頂いた。また、多くの方から不安の声、メールや意見箱でも意見を頂いている。厳しい財政状況ではあるが、過去の反省に立ち返り、規律ある財政運営を行い、財政健全化を成し遂げたい。

人口減少対策について

議員 今後、企業誘致は積極的に行っていくのか。

商工観光課長 平成23年3月18

日に「杵築市企業立地促進条例」を制定し、要件に該当する企業に対して奨励措置を講じる等、企業の誘致を推進してきた。引き続き県と連携して企業誘致を推進していく。

議員 どのような観点から企業誘致を推進するのか。

商工観光課長 空き工場等最適な候補地を迅速に紹介できるように、民間の所有物件や未利用公共施設の掘り起こしに力を入れたい。また、補助事業の活用も含め、県と連携し工場適地の確保に努めたい。

議員 女性が活躍できる環境を整えることも必要ではないのか。

商工観光課長 市内には、子育て中の方でも働きやすい環境を整えている事業所もあるので、今後、女性が活躍できる環境を整えた事業所増加に向け、働き方改革の推進、啓発活動等を行っていく。

その他の質問

- ・メンタルケア・アドバイザー医派遣事業について
- ・おとな食堂について
- ・耕作放棄地の有効利用について

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



くどう せいいちろう
工藤 壮一郎議員

令和2年度の財政運営について

議員 基金の残高は。

財政課長 普通会計の基金は全部で18基金、元年度末残高の見込みは約76億円である。

議員 地方債の残高は。

財政課長 元年度末の残高見込みは約252億円である。

議員 2年度は市債の発行を12億以内、ふるさと応援基金を除く基金の取り崩しを7億以内とうたっているが。

財政課長 市債発行の予定額は約9億円。基金の取り崩しは財調基金3億、特目基金4億、応援基金4億の計約11億円を予定している。まだ基金に依存している状況が課題として残っている。

議員 市民はとても心配しているが、立ち直る見通しはあるのか。今後の予算規模はどのくらいが適当か。

財政課長 2年度予算では財調基金を3億円取り崩す予定だが、

4年度はこの取り崩しゼロを目指している。予算計画通り着実に実行していく。その上で特目基金3億4千万円の繰り入れ幅を圧縮することが重要である。今後は少なくとも2年度以上の予算規模はあり得ない。

議員 第4次行財政改革大綱を作成するようだが。

財政課長 財源手当てには一定のルール作りが必要。遵守すべき財政規律を確立することが、持続的な健全財政の運営に必要不可欠。つまりは条例制定が必要である。執行部は条例に則り予算を編成し、議会や市民は条例に則り進捗状況をチェックする制度を確立したい。

議員 今後は二の足を踏まぬよう厳しい姿勢で取り組んでもらいたい。

その他の質問

- ・ケーブルテレビ事業の整備費について
- ・図書館の運営について
- ・温水プールの運営について



こはる
小春 稔 議員

行財政改革について

議員 今回急激に悪化した財政は行政組織としては普通では考えられない事態である。平成27年11月27日、議員全員協議会で財政課から出された「中期財政収支試算の概要について」以降どう取り組んできたのか。

財政課長 振り返ってみると、項目の設定自体が抽象的で具体性に欠け評価基準の指標となる数値目標も、基金残高はあるものの、目標値を下回り肝心の經常収支比率は目標値も設置していない状況だった。

議員 平成28年からの中期財政改革で一般財源の削減に取組んでいれば今回、急激な事態にならなかったのではないかと。

財政課長 段階的にクリアしていくとの視点に欠けるものだった。また、目標達成のための具体的な取組みの設定がなされてなく実効性に欠ける計画だった

と思う。

議員 この試算から以降、組織の機能が働いていなかったのではないかと。

財政課長 実施計画に具体性が乏しかったことが課題として挙げられる。実施計画が計画どおりに進捗しているのかのチェック体制が甘かったと感じている。役所内の自己評価から激しく行わなければならなかったと感じている。

議員 行財政改革を統括する組織機能体制をつくる必要があるのではないかと。

総務課長 今年から課の統合で設置する企画財政課内に行財政推進室（仮称）として新設し、行財政改革を推進する。担当者は専任の職員を2から3名体制で従事させる予定である。また、内部組織である行政改革推進本部を大綱の審議だけでなく進捗管理においてもしっかりと機能させ本部でのPDCAを回し全職員に対しての危機意識を共有し財政健全化の視点を持って全庁で取り組んでいく。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ただ
多田 忍 議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

議員 今年度で最終年度を迎えるこの戦略、当初どのような目標をたて、どのような成果を期待したか。

政策推進課長 数値目標を立て、人口減少の抑制につなげていくことを期待した。

議員 どのようにPDCAを回したか。

政策推進課長 毎年10月と3月に学識経験者や専門家等で組織する杵築市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価会議で評価して次年度の戦略に反映している。

議員 第1次戦略で得られた成果は。

政策推進課長 残念ながら本市の自然動態、社会動態ともに減少傾向。しかし、目標以上の成果を上げたものも多く、今後地方創生により一層取り組んでいく。

議員 サンプリングから個々の施策のPDCAが回っているのは確認できたが、本来の目的に達していない。サイクルの期間を短くするか、施策を見直す

べき。またより詳しい情報を市のホームページに公開して市民の皆さんからも評価してもらい、よりよい改善にしていくなさ

市外居住職員について

議員 令和2年2月末時点の市外居住の職員数は。

総務課長 直近で73名。

議員 73名分の市民税年間約2千400万円、その他固定資産税など考慮してもかなりの金額が杵築市外に流れている。これは普通なのか。他市町村の状況は。

総務課長 近隣市町村は平均約10%、杵築市は73名であり21.5%。

議員 近隣市町村より2倍以上多いのは異常な事態、市外居住の理由は。

総務課長 家族の介護、子どもの進学、結婚などが主な理由。

議員 人口減少を抑制しようとする職員と市外に出て行く職員、まずは足元から固めるべき。

※PDCAとは

Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価・Action（改善）の頭文字を取ったもの。計画↓実行↓評価↓改善のサイクルを繰り返すことにより管理業務を継続的に改善する手法



おの よしみ
小野 義美議員

緊急財政対策について

議員 令和元年度の決算における経常収支比率は。

財政課長 財政指標的にも厳しい状況である。

議員 市税の未納状況、対策は。

税務課長 歳入の15%にあたる、30億3,000万円の市税のうち、未納額は2億200万円で5年前の半分。不納欠損額は3,800万円で未納減少に努めている。

議員 遊休市有地の売却は。

財政課長 八坂、東地区の89万㎡の土地を含め、多くの遊休市有地を財政改革の中で売却等を進める。

ふるさと納税について

議員 市の納税額、また県内の状況は。

政策推進課長 12月末で3億7,000万円。国東市19億8,000万円、臼杵市7億3,000万円等で杵築市は県内5番目である。

議員 手続きの簡素化や代行

等を行っているのか。

政策推進課長 市のほうに連絡いただければ全て対応する。

中山間、多面的支払い制度について

議員 この制度は中山間地では農地維持に大変貢献できている。市内の加入状況は。

耕地水産課長 令和元年度、中山間で83集落1,018ha。多面的で74組織1,062haである。

議員 5年目の切替の年であるが、高齢化で事務等ができなく、参加できないとの声があるが。

耕地水産課長 耕作放棄地防止の面からも事務軽減代行ができるよう努力する。

旧東山香小学校跡地活用について

議員 平成29年度に地域計画を策定したが、整備事業の着手段階で見送られたことについて。

協働のまちづくり課長 財政危機で予算計上は見送ったが中止はしない。

議員 今後、地域計画の変更もあるが地元の要望等を十分聞いて早く実施すべきでは。

市長 市の重要施策として有利な補助金で早急に実施したい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



にのみやけんたろう
二宮健太郎議員

新型コロナウイルス感染症の対策について

議員 コロナウイルスの行政対応について。

健康長寿あんしん課長 市主催のイベント行事は感染の機会を減らす目的に中止または延期する。またウィルス感染症の問合せは随時受けている。

議員 山香病院等のマスクによる感染リスク対策は。

山香病院事務長 病院のマスク在庫量は1万4,300枚ある。またマスクの自動販売機を設置し病院受診者や見舞客等の申し出がある場合に限り2枚100円で販売している。

議員 小中学校のマスク備蓄数は。

学校教育課長 小中学校合わせて1万1,600枚備蓄している。

議員 全国的な臨時休校で子どもたちの感染リスクは低下したと思われるが今後も行政、教育委員会が協力してウィルス対策の体制づくりを考えていただきたい。

立地適正化について

議員 立地適正化の本来の目

的は。

政策推進課長 急速に進む人口減少、高齢化、生産年齢人口の減少に伴い行政サービスを広範囲に提供していくことが困難になる事が予想されるため、生活に必要な都市機能を集約するコンパクト・プラス・ネットワークの考えで効率的で利便性の高い都市づくりを行う目的である。

議員 この計画が示す都市機能誘導地域では、現在ある杵築中学校や金融機関、公民館施設も外れている。今まで策定してきた都市計画マスタープランとの整合性もとれていないのでは。

政策推進課長 立地適正化計画は基本的に5年ごとに見直す。しかし社会情勢の変化や法制度の変更により都市計画審議会を経て見直していく。また立地適正化計画プランに沿って都市計画マスタープランを令和2年度中に変更していく。

議員 できないことに時間とお金を費やすことは最も無駄であり既存の市有地を今後、使えないような計画は考え直すべきだと考える。もっと協議を重ねていただきたい。

※時間が足りなかった為、「ハザードマップ及び避難場所対策について」は次回に持ち越します。



「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を提出

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「緊急事態宣言」の対象地域が全国に拡大される中、杵築市として特に取り組んでいくべき重要な事項について、杵築市議会としての要望事項を取りまとめ、5月1日に議長から市長へ要望書を提出しました。

要望事項

1. 情報の提供・発信について
2. 市民の生活・健康について
3. 教育環境について
4. 経済対策（雇用の維持・事業の継続）について
5. 予算編成の柔軟性について
6. 職員の態勢について

新副議長の就任



新副議長

堀 典義 議員

田中正治議員の副議長辞職に伴い、令和2年5月8日の令和2年第1回臨時会において、新副議長に堀典義議員が選出されました。

第4回議員研修会を開催

(定例会ごと開催しています)



2月26日、定例会開会日の終了後、杵築市代表監査委員 大石聡氏を講師としてお招きし、議員研修会を開催しました。「杵築市の財政分析」と題し、地方自治体を取り巻く環境変化と計画の現状、決算カードを用いた財政分析、指標による財政分析などを学習しました。

令和2年第1回定例会 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
1	令和2年度杵築市一般会計予算	可決
2	令和2年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計予算	可決
3	令和2年度杵築市国民健康保険特別会計予算	可決
4	令和2年度杵築市後期高齢者医療特別会計予算	可決
5	令和2年度杵築市介護保険特別会計予算	可決
6	令和2年度杵築市農業集落排水事業特別会計予算	可決
7	令和2年度杵築市水道事業会計予算	可決
8	令和2年度杵築市工業用水道事業会計予算	可決
9	令和2年度杵築市下水道事業会計予算	可決
10	令和2年度杵築市立山香病院事業会計予算	可決
11	令和元年度杵築市一般会計補正予算（第9号）	可決
12	令和元年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第3号）	可決
13	令和元年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
14	令和元年度杵築市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
15	令和元年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
16	令和元年度杵築市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
17	令和元年度杵築市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
18	令和元年度杵築市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
19	令和元年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
20	令和元年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第4号）	可決
21	杵築市行政組織条例の一部改正について	可決
22	杵築市行政区設置条例の一部改正について	可決
23	杵築市ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について	可決
24	杵築市コミュニティバス条例の一部改正について	可決
25	杵築市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	可決
26	杵築市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決
27	杵築市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
28	杵築市特別職の職員の給料月額の特例措置に関する条例の一部改正について	可決
29	杵築市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
30	杵築市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	可決
31	杵築市地域包括支援センター事業特別会計条例を廃止する条例の一部改正について	可決
32	杵築市債権管理条例の制定について	可決
33	杵築市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
34	杵築市手数料条例の一部改正について	可決
35	杵築市福祉に関する事務所条例の一部改正について	可決
36	杵築市山香温泉センター（神塩温泉）条例の一部改正について	可決
37	杵築市立児童館条例の一部改正について	可決
38	杵築市長寿祝金条例の制定について	可決

番号	案 件 名	採決結果
39	杵築市大田高齢者デイサービスセンター条例の廃止について	可決
40	杵築市健康推進館条例の一部改正について	可決
41	杵築市健康福祉センター条例の一部改正について	可決
42	杵築市簡易水道事業を杵築市水道事業に統合することに伴う関係条例の整理について	可決
43	杵築市交通安全条例の一部改正について	可決
44	杵築市企業立地促進条例の一部改正について	可決
45	杵築市農畜産物加工センター条例の廃止について	可決
46	杵築市営住宅条例の一部改正について	可決
47	杵築市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	可決
48	杵築市定住促進住宅条例の一部改正について	可決
49	杵築市普通公園等条例の一部改正について	可決
50	杵築市いじめの防止等に関する条例の一部改正について	可決
51	杵築市公民館条例の一部改正について	可決
52	杵築市きつき城下町資料館条例の一部改正について	可決
53	杵築市杵築城条例の一部改正について	可決
54	杵築市大原邸条例の一部改正について	可決
55	杵築市佐野家条例の一部改正について	可決
56	杵築市重光家条例の一部改正について	可決
57	杵築市磯矢邸条例の一部改正について	可決
58	杵築市スポーツ施設条例の一部改正について	可決
59	杵築市 B & G 海洋センター条例の一部改正について	可決
60	下水道事業の地方公営企業法一部適用に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正について	可決
61	工事請負契約の変更契約の締結について	可決
62	権利の放棄について	可決
63	杵築市山香温泉風の郷の指定管理者の指定について	可決
64	風の郷パークゴルフ場の指定管理者の指定について	可決
65	市道の路線廃止及び路線認定について	可決
1	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度杵築市一般会計補正予算（第8号））	承認
2	専決処分の報告について	報告
〔追加議案〕		可決
66	令和元年度杵築市一般会計補正予算（第10号）	可決
67	令和元年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第4号）	可決
68	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
3	専決処分の報告について	報告
〔付議事件〕		
	閉会中各委員会の継続審査について	可決
	議員派遣の件	可決



議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案番号	議案等名	結果	表決数 賛成：反対	議員名（議席番号順）													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
				田中 正治	多田 忍	衛藤 竜一郎	工藤 壮一郎	坂本 哲知	真鍋 公博	阿部 素也	田原 祐二	泥谷 修	堀 典義	二宮 健太郎	小野 義美	藤本 治郎	加来 喬
議案第7号	令和2年度杵築市水道事業会計予算	可決	12対5	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
議案第21号	杵築市行政組織条例の一部改正について	可決	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第38号	杵築市長寿祝金条例の制定について	可決	15対2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

○[賛成] ×[反対] 欠[欠席] 一[退席] 議長は除く

令和2年 第2回定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

6月4日（木）開会

6月8日（月）一般質問

6月9日（火）一般質問・議案質疑

6月10日（水）一般質問予備日

6月15日（月）産業建設常任委員会

6月16日（火）厚生文教常任委員会

6月17日（水）総務常任委員会

6月19日（金）閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映されます。



貸し古民家「月亭」の岳本希世子さんと広報広聴委員

広報広聴委員会 工藤壮一郎

今回は大田地域の取材でしたが、天気にも恵まれ絶好の小春日和でした。のどかな田園風景はなぜか時間が止まっているように感じました。ゆったり、のんびりした雰囲気は田舎でしか味わえない良さでもあります。私はいつも大田に来ると、車に乗って通り過ぎただけで、多くの方が見ず知らずの人にもかかわらず頭を下げてくれる「なんて人間味のある方、なんて心の温かい方達なんだろう。」と気づかされます。お金には変えられない大切なことがそこにあるように感じます。今後もそんな人情味ある温かさを大事にしていきたいと思っています。

編集後記